

# レジノイド砥石 A ネジ付・成分表、安全シート

柳 瀬 株 式 会 社

兵庫県丹波市山南町谷川1385

TEL: 0795-77-2151

作成日: 2009年12月10日

変更日: 2018年2月2日

整理番号: MSDS-Z194



## 危険有害性の要約

レジノイド砥石は、と粒をフェノール樹脂で結合させた混合物で、砥石としての危険・有害性情報は下記の事項があげられる。砥石を構成する成分のうち、労働安全衛生法第57条の2及び化学物質管理促進法(化管法)の文書交付対象物質に該当する純物質の危険有害性情報をGHS分類で列記した。

危険性 : 使用中に砥石が破損し、周囲に飛散して人体に当たった場合、人身事故のおそれがある。

使用中に発する火花により、火傷と火災のおそれがある。

有害性 : 使用中に発生する粉じんを長時間にわたり吸入すると、じん肺に罹るおそれがある。

環境影響 : 使用中に発生する粉じんにより、作業環境が汚染されるおそれがある。

## 1. 物質の特定

製品及び副資材の名称	使用用途	含有物質名
研削砥石	砥材(砥粒成分)	酸化アルミニウム
		シリカ
	結合剤	フェノール樹脂
	着色剤	カーボンブラック
	充填剤	水晶石
	その他	鉄

※上記のとおり法定指定物質は含有しておりません。

## 2. レジノイド砥石 ネジ付(完成品)

危険・有害性の分類	分類の名称	: 分類基準に該当しない。
	危険性	: なし
	有害性	: 研削作業中に発生する粉塵は、眼・呼吸器系を刺激することがある。皮膚を刺激することがある。
	環境影響	: なし
	安全性	: 研削使用時に発生する火花により、火傷と火災の恐れがある。
	衛生面	: 研削作業時に発生する粉塵を長期間にわたり吸入すると塵肺に罹る恐れがある。

<p>応急処置</p>	<p>眼に入った場合 多量の水で直ちに眼を洗い流す。 必要に応じて医師の手当を受ける。</p> <p>皮膚に付いた場合 汚染部位を石鹼と水で洗う。</p> <p>吸入した場合 徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気のところへ患者を移動させる。 徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合 適用しない。</p> <p>応急処置に関する特記事項 応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。</p>
<p>火災時の処置</p>	<p>消火方法 ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。</p> <p>消火剤 水・二酸化炭素・粉末消火薬剤・泡消火剤</p> <p>火災時の処置に関する特記事項 適用しない。</p>
<p>暴露防止措置</p>	<p>設備対策 硬化物の切削を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。 換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。 集塵装置を使用する。</p> <p>保護具</p> <p>呼吸保護具 切断又は研磨作業中に発生する粉塵の吸入を避ける。 汚染物質の空気中での濃度に基づいた検定済の呼吸器を選択すること。 半面防塵マスク、全面防塵マスク</p> <p>保護眼鏡 サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。</p>
<p>物理／化学的性質</p>	<p>外観等 : 黒色</p> <p>水に対する水溶性 : なし</p> <p>状態 : 固体</p> <p>融点 : 知見なし。</p>
<p>物理／化学的性質</p>	<p>固有臭 : なし</p> <p>密度 : 知見なし</p> <p>PH : 情報なし</p> <p>化学反応性 : 水に不溶な固体であり、酸にもアルカリにも溶けない 安定な混合物である。</p>

危険性情報	<p>引火点 : 適用しない  燃焼範囲一下限 (%) : 適用しない  燃焼範囲一上限 (%) : 適用しない  発火点 : 適用しない  避けるべき物質 : 適用しない  有害な分解物 : 通常の使用条件においては、有害な分解物の発生は予想されない。しかしながら、火焰または極端な過熱により次の分解物を放出することがある。  一酸化炭素・二酸化炭素・窒素酸化物・シアン化物・ホルムアルデヒド  安定性・反応性 : 安定。危険な重合は起こらない。</p>
有害性情報	<p>眼に入った場合  本品を正常に使用している場合に、眼に入ることは予想されない。</p> <p>眼の機械的刺激 : 症状は刺激、発赤、角膜の傷、催涙を含むことがある。  切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は眼を刺激することがある。</p> <p>皮膚に付いた場合  皮膚に付いた場合の健康障害は予想されない。</p> <p>機械的な皮膚刺激 : 症状はかゆみ、発赤を含むことがある。</p> <p>吸入した場合  吸入した場合の健康障害は予想されない。  切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は呼吸器系を刺激することがある。</p> <p>飲み込んだ場合  本品は、摂取される可能性は少ない。</p> <p>その他有害性情報  本品は、適切な条件又は当社の使用方法に従って使用する場合は、危険有害性はない。しかし、本品の取扱説明書に従わないで使用する場合は、製品の性能に影響を与え、危険有害性を起こす可能性がある。</p>
環境影響	<p>使用中に発生する粉塵により、作業環境が汚染される恐れがある。</p>
保管上の注意	<p>直射日光を避け、湿度の低い場所に保管する。</p>
廃棄上の注意	<p>産業廃棄物に関する地域の規則に従う。</p>
その他	<p>記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。  また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。</p>

**構成純物質のGHS分類**

○印が該当する物質	○	○
	酸化アルミニウム	二酸化けい素

**物理化学的危険性**

火薬類	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外	分類対象外
高压ガス	分類対象外	分類対象外
引火性液体	分類対象外	分類対象外
可燃性固体	区分外	区分外
自己反応性化学品	分類対象外	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外	分類対象外
自然発熱性固体	区分外	区分外
自己発熱性化学品	区分外	区分外
水反応可燃性化学品	区分外	区分外
酸化性液体	分類対象外	分類対象外
酸化性固体	区分外	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない	分類できない

**健康に対する有害性**

急性毒性(経口)	区分外	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない	区分2
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	区分外	区分1A
生殖毒性	区分できない	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(吸入:肺)	区分1(呼吸器 腎臓 免疫系)
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない

**環境に対する有害性**

水生環境急性有害性	分類できない	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない	分類できない

**ラベル要素**

絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	危険
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ。 長期又は反復ばく露吸入による肺の障害。	強い眼刺激。発がんのおそれ。 呼吸器系の刺激のおそれ。 長期又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系の障害。

**構成純物質のGHS分類**

○印が該当する物質	○
	フェノール

#### 物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発熱性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	区分外

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	区分 3
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	区分 1A-1C
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分 1B
発がん性	区分外
生殖毒性	区分 1B
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分 1(呼吸器、心血管系、腎臓、神経系)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分 1(呼吸器、心血管系、肝臓、消化管、血液系、腎臓、脾臓、胸腺、中枢神経系)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分 2
水生環境慢性有害性	区分外

#### ラベル要素

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	<p>飲み込むと有害(経口)。皮膚に接触すると有毒(経皮)。          遺伝性疾患のおそれの疑い。          重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。          生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。          呼吸器、心血管系、腎臓、消化管、血液系、肝臓、脾臓、胸腺、中枢神経系の障害。</p>